

## 第1回 足羽川桜つつみ協議会 議事要旨

- 開催日時 : 平成19年3月15日(木)午前10:00~11:40  
開催場所 : 福井県民会館 3階 306会議室  
出席委員 : 葉袋 奈美子(福井大学 建設建築工学科 講師)  
内藤 汎 (福井市都市景観審議会 委員、樹木医)  
朝倉 邦真 ((社)福井青年会議所)  
石川 裕夏 (福井商工会議所 青年部)  
中山 重成 (桜並木を守る会 代表)  
橋本 浩 ((財)福井観光コンベンション協会)  
平井 博政 (NPO 法人ドラゴンリバー交流会)  
上村 祥代 (一般公募:福井大学)  
松下 幸男 (一般公募:毛矢五の組自治会長)  
荒井 證次 (足羽子ども会育成会 会長)  
藤井富士雄 (足羽エコ探検隊 隊長)  
安本 暢男 (福井南ロータリークラブ)  
吉岡 正博 (スリーAクラブ)  
(欠席)今井三千穂 (総合グリーンセンター、樹木医)

### 1. 開会

### 2. 主催者挨拶

(福井県河川課 名津井課長)

### 3. 委員紹介

### 4. 足羽川桜つつみ協議会の設立

- ・協議会の設立趣旨、検討内容、スケジュールについて、承認される。
- ・協議会の運営規程について、承認される。
- ・委員長に葉袋委員が推薦され、選出される。
- ・委員長挨拶
- ・委員の自己紹介

### 5. 議事

- ・足羽川の桜堤に関する検討経緯と計画案について

事務局:(資料-1の説明)

#### 【計画案について】

石川委員:現在の桜堤は、日本一の桜のトンネルといわれ、その形状に価値があるが、将来片側だけになると、特徴がなくなる。  
片側だけの並木では、観光資源としての価値や県民の誇りという点で劣ることから、何らかの工夫が必要と考える。

中山委員：桜のトンネルを長く維持するため、川側の桜をできるだけ延命させる方策が考えられないか。

葉袋委員長：協議会で、桜のトンネルに代わる特徴を出していく必要があるかもしれない。

事務局：堤防には好ましいことではないが、川側の桜を暫定的に残すことで、桜並木景観の見劣りを抑えて、枯れるまでの桜のトンネル形状が存続できる。

堤防の安全性や桜並木の景観について一般住民と沿川住民の意見は異なるが、計画を策定するためには双方の歩み寄りが必要である。

提示した計画案は、河川を管理する県としても最大限譲ったものなので、この案での住民合意が図られることを望んでいる。

松下委員：以前は足羽川よりも足羽山に多くの人に来ていた。

これからの桜は、足羽山を主に考えていくことができないか。

中山委員：九十九橋から幸橋までが、特に市民に親しまれ利用されている区間なので、改修にあたっては、九十九橋までの整備を第一に考えてもらいたい。

藤井委員：桜堤の計画は概ねこれで良いが、新明里橋までの全体で考えてもらいたい。

橋本委員：桜橋から木田橋が激特事業で、後の新明里橋まではどうなるのか。

事務局：激特事業では、治水上の対策を優先するという考えから、桜橋の上流区間だけが工事の対象となっている。

桜橋の下流の区間については、今後、県と市で考えていきたい。

葉袋委員長：足羽川左岸における桜堤の基本的な方向性としては、県と市が提示した計画案を協議会として妥当と判断してよろしいか。

全委員：意義無し。

葉袋委員長：今後の協議会の審議は、この計画案をベースに進めることとする。

### 【施設配置について】

中山委員：伐採した桜をベンチや椅子等に再利用して、桜への親しみを持続させてもらいたい。

藤井委員：現在散歩に利用しているので、全区間に渡ってベンチがあると良い。

松下委員：トイレを充実してほしい。

堤防の空きスペースにトイレを置いたらどうか。

現地を歩いて、トイレの場所についてよく検討してもらいたい。

橋本委員：春まつりの夜の灯りとして、ボンボリを付けたり桜のライトアップもしている。

夜の景観が観光素材となるような、ボンボリに替わる新しい灯りを検討できないか。

平井委員：足羽川に照明があると、夜のウォーキングなど、活用範囲も広がると思う。

駐車場や灯りがあれば、郊外や駅前から堤防に来る人も増えるのではないか。

中山委員：「災い転じて福となす」と言うように、整備するには今がチャンスだと思う。

桜堤を楽しみ散歩道のある憩い場所にしてもらいたい。

葉袋委員長：桜堤をどのように使うかによって、必要なものも明確になってくる。

落葉掃除や害虫駆除などの維持管理を今後どうしていくのかも含めて、考えることが必要である。

事務局：灯りの観点は大事なので、どう対応していくのか検討したい。

トイレは維持管理や夜の治安の問題などがあるが、この協議会で考えていきたい。

吉岡委員：堤防沿いの市道についても、堤防と一体的なものとして考え、潤いのある癒されるような道となるよう、是非検討してもらいたい。

内藤委員：道路沿いの擁壁は、単なるコンクリートの壁にせず、時とともに周りの景観になじむようなものにしたらどうか。

それに合わせて、ときめく場所、楽しくなるような道路にしていきたいという気持ちがある。

松下委員：冬場の除雪をきちんとしてもらえれば、擁壁ができて沿川住民からの苦情は少ないと思う。

葉袋委員長：行政頼みでなく、これからは市民が様々なアイデアを出すべきだ。

#### ・多様な桜の品種について

#### ・桜堤整備の試験施工について

事務局：(資料 - 2、資料 - 3の説明)

#### 【桜について】

松下委員：近年は桜の花びらの色が白くなり、植え替えの時期にきているようだ。

剪定した枝が見られるように復活するまで、3年はかかる。

藤井委員：桜によっては、20日間咲くものもあると聞いている。

各品種の開花期間の情報も知りたい。

静岡県の例では、開花時期がずれることにより、2ヶ月間花が見られるとのことである。

内藤委員：桜の花は、実が出来る時期で左右され、早く咲くと開花期間が長くなり、遅く咲くと早く散る。

開花期間を数字で表すのは難しいが、標準的なものなら示せると思う。

吉岡委員：長い期間ガラガラと咲いているのは、掃除の期間も長いので沿川住民としては困る。一斉に咲いて一斉に散るソメイヨシノの方が良い。

#### 6. 事務局からの連絡等

事務局：次回の協議会は、5月上旬で日程調整する。

#### 7. 閉会挨拶

(福井市観光開発課 平田課長)

#### 8. 閉会

足羽川桜つつみ協議会の閉会后、試験施工の現場を視察。

以上